



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.747 2025.3.19

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅周辺地区まちづくり 次年度以降に検討の計画業務

早々と委託業者を選考

のの山けん区議 市街地再開発の利害関係者を選定しないよう要請



北区のホームページより

区は、今年夏頃までに赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画を策定し、次年度以降は新たな会議体を立ち上げ、まちづくりの手法や公共施設の再配置など、具体的検討に入るとしています。

次年度以降の検討の前提となる基本計画は、まだ案すら確定していない段階ですが、区はすでに「赤羽駅東口まちづくりガイドライン及びまちづくり整備計画策定支援業務」のプロポーザルを1月に実施、3

月中には委託事業者を選定するとしています。

現在行われている基本計画策定検討業務には、市街地再開発中央地区（旧第2・第3地区）のコンサルタントである株式会社アール・アイ・エーが選定されており、中立が求められる策定検討会での再開発を誘導するかのような公平性を欠く運営に、批判の声もあがっています。

私は、予算特別委員会の中で「次年度以降の計画策定業務委託については、再開発の利害関係者は排除すべき」と要請、区は再開発事業者について「関係者ではあるが利害関係者ではない」などと苦しい答弁に終始しました。

プロポーザルの結果を注視していきたいと思えます。（のの山けん）

原発は いら ない

9日、王子駅前公園で開かれた「さよなら原発」集会。「原発ゼロの日本をつくりましょう」と訴えました。（のの山けん）



暮らしと営業を支える予算に

3月8日～17日

区議会予算特別委員会

新年度の予算案を審議する区議会予算特別委員会が8日から17日にかけて、7日間の日程で開かれました。私は初日の総括質疑から最終日の補足質疑まで、「暮らしと営業を支える予算に」とさまざまな提案を行いました。(のの山けん)



積立金は暮らし応援に

区は、新年度予算が100億円もの歳入増となるのに、年度末と新年度で80億円も基金を積み立てようとしています。これだけの財源があるなら、物価高騰で苦しむ区民の生活や、中小事業者の営業の支援に回すべきと追及。臨時給付金の拡充や家賃補助制度の創設を求めました。



働く人の賃金引き上げよ

北区と特定契約を結んだ事業所で働く労働者の賃金引き上げが期待される公契約条例。新年度で3年目を迎えます。今回は、低かった労働報酬下限額を114円引き上げて時給1368円に。23区内では中程度の水準となりました。私は、次年度以降のさらなる引き上げを求めました。



教員の働き方改善を

劣悪な教員の働き方の改善はまったなしです。私は、国や都に教員の抜本的増員を要請するとともに、小学校に配置しているエデュケーション・アシスタントは派遣ではなく、会計年度任用職員として区の責任で採用するよう求めるとともに、コミュニティスクールの推進を提案しました。



施設削減を抜本見直し

区は「20年間で15%の施設削減」を掲げる公共施設等総合管理計画の改定に着手しています。私はこれまで、区民サービスの低下をもたらす施設の削減や統廃合を繰り返し批判してきましたが、今回の改定では「削減ありき」の考え方が抜本的に見直されることになりました。